

第26回 佐賀市子ども・子育て会議 要旨

日時:令和7年1月22日(水)19:00~20:00

場所:佐賀市役所本庁4階大会議室

1 開会

2 議事

(1) 利用定員の設定について

●事務局

資料2により説明(省略)。

○質疑なし

(2) 次期子ども・子育て支援事業計画について

●事務局

資料3により説明(省略)。

○質疑なし

(3) 佐賀市こども計画(仮称)について

●事務局

資料4により説明(省略)。

○委員

家庭の問題には、経済状況だけではなくヤングケアラーなどもあると思う。こどものアンケートでは、家の仕事や小さい子の世話を負担に思っていないかや、保護者のアンケートでは、任せたくて任せているわけではなくて本当はどうしたいのか、といったことを聞くなども検討してもらいたい。

選択肢も、抽象的でわかりにくい部分があると思うので、もう少し具体的に、「学校に行く前の洗濯がきつい」などと書いてみてはどうか。

○委員

こどものアンケートの問25~問28にヤングケアラーに関する設問があるが、具体的な行為に対しての気持ちをもう少し聞いてみるのを検討してもらおうということで事務局に願います。

○委員

アンケートの対象を、普段通学できている子を選ぶだけでなく、不登校の子など、偏りなく幅広くとらないと、課題などが見えてこない場合もあると思う。不登校の子が多数いる中で、そういう子をどうするかを考えてほしいし、保育園・幼稚園も様々な子が通っており、先生たちはその対応で一杯一杯になっている現状もある。こどもまんなかを考えるなら、踏み込んだアンケートをとってほしい。

また、この会議の場で現職の先生の声を聞けるよう検討してほしい。

○委員

これだけ質問の量が多くて、ちゃんと答えてもらえるのか心配。本当に苦しんでいる保護者なら、答えたくないと思うのでは。もっと簡単に、わかりやすく端的にしてはどうか。

○委員

答えやすい質問というのを少しでも反映させてもらえればと思う。

○委員

こどものアンケート問 6 で「学校の授業でわからないことがあるか」を聞かれており、その次に、「わからないときにどうしているか」といった、その子の解決策の設問を入れてもいいのでは。

保護者のアンケート問 28 で「こどもの権利が実現されていると感じるか」を聞かれているが、わが子に関してなのか一般的なこどもについてなのかがわかりにくい。

若者のアンケート問 24 「将来こどもが欲しい・もっとこどもが欲しい」と思う人について聞かれているが、何人欲しいと思っているかも聞いてみていいかもしれない。

○委員

不登校対策協議会などに出席していると、不登校が増えており、支援方策などがいろんなところで出てくるが、支援する側のマンパワー・コストの問題が大きい。いろんな問題に対する支援ニーズは高まる一方で、保育士は足りていないし、支援側は枯渇している。

また、支援ニーズは増えている一方で、支援を受けずに生活している人が、自分たちの方が大変だ、と思うことだってあり得る。

いろんな立場の人の問題や事情について、うまくバランスをとりながら満たしていけるよう、この会議で議論していくべきと思う。

○委員

支援側の枯渇というのは、現場にいるのでよくわかる。何で少ないのかといった枯渇の原因も見えてくるようなアンケートになればいいと思う。

現状を聞くだけでなく、どこを改善すればよいのかという考え方があれば、アンケートの取り方も変わってくると思う。

いろんな現場があるので、まんべんなく満たす取り方・内容にしてもらえればと思う。

●事務局

今回策定することも計画は内容が幅広いため、まずはこどもの現状を知りたいと思う。

設問が多いと回答率が下がるというのはあると思うので、再度精査したい。

小5・中2で、普通学級・特別支援学級を対象とする予定。

様々な事情で声をあげにくい人について、本人からの徴取が難しいことも考えられるので、支援団体を通じて聞くなど幅広く意見を聴取できるよう検討中。

学校現場の声もいただきたいので、この場に先生に来ていただき意見をいただくなどを調整したい。

○委員

不登校の理由の1/3に、小・中学校でいじめを受けた⇒担任に相談⇒とりあってくれなかったというのがあった。先生の現場の声を取り入れてほしいと思う。

○委員

絶対してという強制的なものではなく、今回の意見を参考にして、より良いものとしてほしい。

4 閉会